-	海洋生物バイオロギングのための水中ピトー管の開発					
Title						
Sub Title	Development of an underwater Pitot tube for marine bio-logging					
Author	高橋, 英俊(Takahashi, Hidetoshi)					
Publisher	慶應義塾大学					
Publication year	2020					
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2019.)					
JaLC DOI						
Abstract	 本研究の目的は、ウミガメなど海洋生物の遊泳中の対水速度を計測するためのビトー管型の流速 センサを実現することである、そのために、提案するセンサ構造を試作し、遊泳速度に相当する 圧力を印加した際の応答を計測しその特性を評価した. 一般的なビトー管の作かの計測に使用した場合、管口から気泡が入りセンサ応答に影響を及ぼす と考える、本研究ではビトー管の管口を薄膜で塞くことで気泡の流入を防ぎ、さらに内部を非圧 縮性流体で満たすことで周囲の水圧の影響を除外する構造を提案した、また要求仕様として、流 れに影響を与えないセンサの長さとしてアオウミガメの体長の5%以下の50 mm,流速の計測域を遊泳速度の2.5倍の5 m/sとしてアオウミガメの体長の5%以下の50 mm,流速の計測域を遊泳速度の2.5倍の5 m/sとしてアメウミガメの体長の5%以下の50 mm,流速の計測域を近次速度の2.5倍の5 m/sとして、動力にないた。 実験では、ビトー管の筐体部分は3Dプリンタを使用して製作した。筐体は筒状の管部分と球体部 グの2つで構成されており、管の先端部分に動孔、球体の側面部分の1ヵ所に静えを設計した。管 部分は、内径6 mm,外径10 mmの筒状で長さは30 mm,球体部分は直径20 mmであり内部が空洞になるように設計した。筐体に対して、動孔と静孔に厚さ0.2 mmのシリコ ーンゴムを貼り付け、中に非正縮性のシリコーンオイルを密閉した、さらにシリコーンゴム上に センサ素子となるひずみゲージを貼り付けた. 試作したセンサに対して、流速に相当する圧力を動孔に加えた際のセンサの応答を計測した、実 験方法として、ビトー管の先端にシリコーンナイーブを通じてほかれ正器の圧力の出力ボートを つなげ、圧力を印加した際のひずみゲージの応答を計測した。圧力を0 kPaから9 kPaまでを1 kPa 刻みで与えて実験を行い、ひずみゲージの応答を計測した。近日がな正器の圧力の出力ボートを つなげ、圧力を印加した際のひずみゲージの応答を計測した。圧力な0 kPaから9 kPaまでを1 kPa 刻みで与えて実験を行い、ひずみゲージの応答を計測して、近方のはPaがら9 kPaまでを1 kPa 刻みで与えて実験を行い、ひずるがつジロに大型た対して線形に応答していることが確認した。 これらの結果から、本研究で提案するセンサは原理的に水中での流速を計測可能であることが分 かった. The purpose of this research is to realize a Pitot tube for weasore to measure the velocity of marine animals, such as a sea turtle during swimming. For this purpose, a prototype of the proposed sensor structure was developed. The response to pressure corresponding to the swimning speed was measured. When a general pitot tube is used for underwater measurements, air bubbles will enter the tube and affect the sensor response. In this study, we proposed a Pitot tube of which intertor is 50 mm in length (less than 5% of the body length of a green marine turtle) and the measurable range of the flow velocity is 5 m/s (2.5 times the swimming speed).					
Genre	Research Paper					
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2019000008-20190375					

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2019 年度 学事振興資金(共同研究)研究成果実績報告書

研究代表者				<u>ノロ/</u> 戦名				
	氏名	高橋 英俊		(革語)	Hidetoshi Takahashi	補助額	2,000	千円
	ту-Ц							
			研究課題	〔(日本詞	吾)			
海洋生物バイオ	トロギングのた	めの水中ピトー管の開発						
			研究課題	99(英訳)			
Development of	f an underwate	er Pitot tube for marine bio-	logging					
			研究	印組織				
氏	名 Name		所属	・学科・	職名 Affiliation, department, an	nd position		
高橋英俊(Hide	etoshi Takahas	shi) 理工学部·機械工	理工学部·機械工学科·専任講師					
尾上弘晃(Hirc	oaki Onoe)	理工学部·機械工	学科・准教	牧授				
		1.	. 研究成	果実績の)概要			
					めのピトー管型の流速センサ		である. そ	そのた
					除の応答を計測しその特性を認			
					サ応答に影響を及ぼすと考え			
					とすことで周囲の水圧の影響る			
に安水11 惊とし 倍の5 m/s とし		音を与えないセノサの長さと		ノミハメの)体長の 5%以下の 50 mm, 流	迷の計測域を	迎冰迷皮(0) 2.5
		分は 3D プリンタを使用して	製作した	筐体は	筒状の管部分と球体部分の2	って構成され	ており 管	の先
					径 6 mm, 外径 10 mm の筒状			
					:静孔に厚さ 0.2 mm のシリコ-			
縮性のシリコー	ンオイルを密閉	閉した. さらにシリコーンゴム	上にセン	サ素子と	なるひずみゲージを貼り付け	<i>t</i> =.		
					の応答を計測した.実験方法			
]加した際のひずみゲージの			
		で与えて実験を行い,ひす。 サは原理的に水中での流速			に対して線形に応答している	ことか確認した	N50)結果
から、本研えで	従来りるビノ							
T 1	C 11.1.		究成果実					
					to measure the velocity of r			
-		ins purpose, a prototype on ng speed was measured.	i the pro	posed se	ensor structure was develope	ed. The respon	se to pre	ssure
1 0		5 1	urements.	air bubł	les will enter the tube and a	ffect the sens	or respon	se. In
-	•				hin film to prevent the inflov		•	
interior is filled	with incompre	essible fluid to exclude the ir	nfluence c	of ambier	t water pressure. We designe	d that the sen	sor is 50 r	mm in
length (less tha	in 5% of the bo	dy length of a green marine	turtle) ar	nd the m	easurable range of the flow v_{i}	elocity is 5 m/s	s (2.5 time	es the
swimming spee						-		
					D printer. The housing consis			
					er diameter of 6 mm and an (with a thickness of 0.2 mm w			
					with a thickness of 0.2 mm w as a sensor element was attac			
					to the flow velocity was appl			
					e, and the response of the st			
					arly to the pressure by apply			
kPa with 1 kPa	a interval. Fror	m these results, it is sugge	sted that	the pro	posed sensor is capable of r	neasuring the	flow veloc	ity in
water in princip	le.							
		3. 2	本研究課	題に関す	る発表			
発表者 (著者・		発表課題名 (著書名・演題)		(清	発表学術誌名 皆書発行所・講演学会)	学術誌 (著書発行年	発行年月 月・講演	年月)
大土井航,高橋							1 HT-DA	

1